

沖縄コカ・コーラが美ら島沖縄総体をバックアップ



写真右から伊集守和副町長（前副町長）、宮平重文豊見城営業所長

7月に開催される全国高校総体体育大会「美ら島沖縄総体2010」に向け、沖縄コカ・コーラボトリング株式会社の宮平重文豊見城営業所長が1月28日八重瀬町高校総体事務局を訪れ飲料水「アクアバリュー」50ケース2リットルペットボトル300本を寄贈しました。宮平所長は「暑い夏場に向けて水分補給をし、沖縄に集う選手たちが練習や本番において力を発揮できるようにバックアップしたい」と話しました。八重瀬町からは、伊集守和副町長が「皆様の積極的な支援が大会の運営をスムーズに進めてくれる。会場にいる全てのみなさんが楽しめる大会になるようがんばりたい」と話しました。

東京ヤクルトスワローズを歓迎

東京ヤクルトスワローズ2軍選手が東風平野球場でキャンプインするにあたって2月1日、東風平運動公園町営体育館で歓迎式が行われました。式の中で伊集守和副町長（前副町長）は「ヤクルトスワローズの選手たちが本町でキャンプすることで野球を志す児童たちにとって大きな目標となる。選手の皆様が来季のシーズンに向けて体力をつけ、良い成績を残せるよう期待しています」と歓迎の挨拶を述べました。選手に花束の贈呈も行われると猿渡寛茂監督からは「心と体作りはこのキャンプインからはじまります。チーム力の底上げができるよう、また八重瀬町の応援にも応えられるよう選手一同がんばりたい」と挨拶を行いました。



消防団防災広報車交付式が2月12日島尻消防本部構内で行われました。消防車両の交付は、日本消防協会が共済事業の新興に功績が多である市町村等に対し、共済事業の一環として行っているもので、今回広報車両1台が島尻消防団（富山達美団長）に交付されました。当日の交付式では松田進県消防会長から神谷清和島尻消防団副団長に目録が手渡されました。当車両は、島尻消防団の防災広報車両として様々な活用が期待されています。島尻消防組合の比屋根陽文消防長は「島尻消防管内の人口は67千人、管内面積は77.6km²と広大。国民の安全な暮らしのために防災広報車を様々なことに活用をさせていただきます」とお礼の言葉を述べました。

島尻消防団に広報車両が交付されました



小城第二土地改良区が「沖縄、ふるさと百選」に認定



写真右から仲座亀吉組合長、仲座康敬理事長、中村信吉町長（前町長）

農山漁村の活性化を図る一助として、農山漁村と関わりを持ち地域が誇れる魅力ある地域団体を認定する「沖縄、ふるさと百選」の生産部門に本町の小城第二土地改良区（代表・仲座康敬）が認定されました。同区は補助事業の導入により、農産物の安定性・供給が図られたこと、非農用地の設定により快適で魅力ある地域景観を創り、地域の特産品開発で地域活性化に寄与していることが認められました。2月9日には仲座康敬小城第二土地改良区理事長と仲座亀吉小城非農用地地区画整理組合長が八重瀬町役場を訪れ中村信吉町長（前町長）に報告しました。仲座理事長は「区画整理、畑地などが整備され、生産性の高い作物の栽培で計画的な営農ができる。また、人口が増えることで集落内の行事の活性化に繋がってくれる」と今回の受賞に期待を込めて話しました。

安里改良区事業の完了を記念して除幕式



安里土地改良区事業完了を記念する碑の除幕式が2月9日、同区内で行われました。記念碑は安里第3地区内に設置され、除幕式では地主や県、町の関係者が集い工事完了を祝うとともに安里地区の農業の可能性を期待しました。金城秀雄理事長は「農業用水の確保が難しかったが、これからは地下水を利用して電照菊やピーマン、紅いもなど生産性の高い作物の栽培が可能。今後農地や施設の保全も含め子々孫々まで引き継いでいきたい」と決意のことばを話しました。また、農家を代表して安里美津男副理事長は「施設という箱の中に私たちの魂を吹き込むことで有機物を生み出し、地域活性化につなげていきたい」と力強く話しました。

「美らしま沖縄総体2010」のリハーサル大会を行いました

第18回全九州高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会が1月17日、八重瀬町具志頭体育館で開催されました。大会は来年度の全国大会及び九州大会等の前哨戦として今後を占う新人大会でもあり、また今年の夏に開催される「美ら島沖縄総体2010」のリハーサル大会としても実施されました。全国から多くの選手が集まる中、町内出身の高校生も参加して熱い熱戦が繰り広げられるとともに大会役員も7月に開催される本番に備え競技の進行や注意点などの確認を行いました。



2月7日に開催された第17回バスケットボール県中学校選抜優勝大会で具志頭中学校が優勝を飾りました。県大会での優勝は47年ぶりの快挙で保護者や学校関係者の方々も選手の活躍に喜んでいました。決勝戦ではこれまで強化してきたディフェンスが機能し、33得点をたたき出した中村弘夢君の活躍で具志頭が71対58で宜野湾を下しました。昨年行われた県大会では、8月のポッカ杯、12月の新人大会といずれも準優勝。選手たちにとって念願の優勝となりました。3月には九州大会の出場が決まっています。

具志頭中学校バスケット47年ぶりの快挙



親泊くんと仲嶺くんが島尻選抜に選出

字新城出身の親泊遼くんと字具志頭出身の仲嶺諒くんの二人が1月23日島尻地区ミニバスケット連盟から島尻選抜選手として選ばれました。2人は3月6日開催される第8回沖縄県ミニバスケットボールオールスター国頭大会に出場します。2月9日には中村信吉町長（前町長）を訪れ報告するとともに大会に臨む意気込みを話しました。親泊くんは「相手のマークを放さず粘りのあるディフェンスをしたい」と話す仲嶺くんは「島尻選抜として思い切りプレーしたい」と力強く話しました。



写真右から親泊遼くん、仲嶺諒くん、中村町長（前町長）

金城さん、おきなわ山羊品評会で優秀賞を受賞

昨年12月15日に開催された第1回おきなわ山羊品評会において県内の市町村から37頭の山羊が展覧される中、町内の金城寿善さんが若雌の部で優秀賞に選ばれました。金城さんは、山羊を育てて15年にもなり、町が開催する品評会でもいくつも賞を受賞した経歴があります。現在は、孫の山田義尚さんの手伝いもあり14頭の山羊を育てています。今回の受賞について金城さんは「県の品評会で受賞できたことは今後の励みにもつながる。これからもいい山羊を育てていきたい」と次回の品評会に向けて意気込んでいます。

